

## 平成29年度秋田市障がい者総合支援協議会相談支援部会の総括について

部 会：秋田市障がい者総合支援協議会相談支援部会  
部会長：秋田市障がい者総合支援協議会相談支援部会会長  
委 員：秋田市障がい者総合支援協議会相談支援部会委員

### 1 平成29年度の目指すべき方向性と課題について

#### (1) 協議の方向性

平成29年度の相談部会における目指すべき方向性は次のとおりであった。

障がい児（者）や、家族が抱える日常生活の困りごと相談への対応のため、相談支援事業者が中心となり、以下に掲げる課題に取り組むもの

- ア 障がい児（者）の生活課題の整理と検討
- イ 社会資源の検証・開発
- ウ 困難事例の協議
- エ サービス等利用計画等の作成にあたってのスキルアップ
- オ 虐待相談に関する協議

#### (2) 協議内容

(1)に掲げる目指すべき方向性を踏まえ、次の課題について協議を行うこととした。

- ア 課題解決の検証および課題の再整理について  
【旧課題提言分類表の活用による新たな「課題提言分類表」の作成】
- イ 社会資源の活用について  
【移動支援関連事業所と相談支援事業所による情報共有に向けた研修会の実施】
- ウ 基幹相談支援センターの整備に向けた検討について
- エ 困難事例への対応および課題解決に向けた事例検討について
- オ 事業所一覧の作成  
【障害福祉サービス等提供事業所にかかる事業内容等の詳細事項を記載した一覧表の作成】
- カ その他、部会で検討が必要と判断した事項

## 2 協議の方法について

支援内容ごとにより具体的な協議を進めるため、協議の方法については、次に掲げる方法のとおり行うこととした。

### (1) 運営会議の開催

「協議会」で協議のあった課題等について情報共有を図り、「部会」でのスムーズな運営を行うための準備やその方法等について確認または協議をするため「運営会議」を必要に応じて開催する。

### (2) 部会の開催

協議会からの課題検討の依頼のあった内容や各部会の判断により独自に協議が必要と判断した事項について協議を行うため、必要に応じて開催する。

## 3 協議の経緯について（○：運営会議 □：部会 △：合同部会）

### △H29.7.5(火) 第1回 合同部会および個別部会 中央市民サービスセンター PM3:00～5:00

- ・出席者：(相談支援部会) 斎藤委員、成田委員、猪岡委員、石井委員、菊地委員、宮田委員  
片桐委員、畠山委員、岩本委員、船起委員、秋本委員  
(就労部会) 牧野委員、加藤委員、武田委員、上杉委員、栗田委員、阿部委員  
(児童部会) 小野寺委員、宮野委員、大山委員、鈴木委員、小坂委員

#### ・主な協議内容等

##### 【合同部会全体会議】

- (1) 秋田市障がい者総合支援協議会の概要について
- (2) 秋田市障がい者総合支援協議会各部会の運営方法について

##### 【各部会個別会議】

- (1) 部会長および事務担当者の互選について
- (2) 追加する委員について
- (3) 目指すべき方向性と29年度の課題について

### □H29.7.19(水) 第1回 部会 あきぎんスタジアム会議研修室 PM1:30～4:00

- ・出席者：斎藤委員（部会長）、成田委員、猪岡委員、石井委員、菊地委員、宮田委員、片桐委員、畠山委員、岩本委員、船起委員、小田内委員、秋本委員、設置運営要綱18条に基づく関係者【菅原氏（秋田ワークセンター）、黒川氏（ゆうこうえん）、原田氏（ニコニコ）成田氏（広面ハウス）、星氏（びりーぶ）、伊藤氏（ねこの手）】、事務局（障がい福祉課1名）

#### ・主な協議内容等

- (1) 平成29年度相談支援部会の協議スケジュール案について
- (2) サービス等利用計画の作成プロセスの確認
- (3) 自然災害等への対応について

□H29.8.16(水) 第2回 部会 あきぎんスタジアム会議研修室 PM1:30~4:00

- ・出席者：斎藤委員（部会長）、成田委員、猪岡委員、宮田委員、片桐委員、畠山委員、岩本委員、船起委員、設置運営要綱18条に基づく関係者【菅原氏（秋田ワークセンター）、清水氏（ほのぼの）、黒川氏（ゆうこうえん）、原田氏（ニコニコ）、成田氏（広面ハウス）、星氏（びりーぶ）、伊藤氏（ねこの手）】、事務局（障がい福祉課2名）

・主な協議内容等

- (1) 課題提言分類表の作成について  
(19年度作成の課題提言分類表の評価)
- (2) 移動支援事業所との研修会について
- (3) 河川氾濫等に伴う避難勧告が発令された地域の障害者の避難状況と住宅被害等について
- (4) 事例検討（知的障がい事例）

○H29.9.7(木) 運営会議 市役所1-B会議室 PM4:00~5:00

- ・出席者：斎藤委員（部会長）、成田委員、猪岡委員、事務局（障がい福祉課1名）

・主な協議内容等

- (1) 課題分類表の作成について
- (2) 移動支援に関する研修会について
- (3) 事業所一覧の作成について

□H29.9.20(水) 第3回 部会 あきぎんスタジアム会議研修室 PM1:30~4:00

- ・出席者：斎藤委員（部会長）、猪岡委員、菊地委員、宮田委員、片桐委員、畠山委員、船起委員、秋本委員、設置運営要綱18条に基づく関係者【菅原氏（秋田ワークセンター）、清水氏（ほのぼの）、黒川氏（ゆうこうえん）、原田氏（ニコニコ）、成田氏（広面ハウス）、伊藤氏（ねこの手）、坂下氏・堀井氏・菊池氏（わたぼっち）、鹿嶋氏（カダル）】、事務局（障がい福祉課1名）

・主な協議内容等

- (1) 課題提言分類表の検証及び、新課題提言表の作成について
- (2) 移動支援に関する研修会について
- (3) 事業所一覧の作成について
- (4) 事例検討（身体障がい事例）

○H29.10.5(木) 運営会議 市役所ホール PM4:00～4:30

・出席者：斎藤委員（部会長）、成田委員、猪岡委員

・主な協議内容等

- (1) 課題提言シートの提出進捗状況と協議方法について
- (2) 移動支援に関する研修会 開催案内文書について
- (3) 課題提言分類表の様式について

□H29.10.18(水) 第4回 部会 あきぎんスタジアム会議研修室 PM1:30～4:00

・出席者：斎藤委員（部会長）、成田委員、猪岡委員、菊地委員、宮田委員、片桐委員、畠山委員、船起委員、設置運営要綱18条に基づく関係者【高野氏（高清水園）、清水氏（ほのぼの）黒川氏（ゆうこうえん）、原田氏（ニコニコ）、成田氏（広面ハウス）、星氏（びりーぶ）菊池（わたぼっち）】、事務局（障がい福祉課2名）

・主な協議内容等

- (1) 移動支援に関する研修会について（準備作業経過報告）
- (2) 事業所一覧の作成について（照会用の様式について）
- (3) 課題提言表の作成について（課題提言者からの内容説明）
- (4) 事例検討（精神障がい事例）

○H29.11.9(木) 運営会議 市役所1-B会議室 PM4:00～5:00

・出席者：斎藤委員（部会長）、成田委員、猪岡委員、事務局（障がい福祉課1名）

・主な協議内容等

- (1) 移動支援に関する研修会の実施について
- (2) 課題提言表の作成について

□H29.11.15(水) 第5回 部会（移動支援に関する研修会を兼ねる）

中央市民サービスセンター「センタース」洋室4 PM1:30～4:00

・出席者：斎藤委員（部会長）、成田委員、猪岡委員、菊地委員、宮田委員、片桐委員、畠山委員、岩本委員、船起委員、小田内委員、設置運営要綱18条に基づく関係者【菅原氏（秋田ワークセンター）、秋本氏（ごろりんハウス）、清水氏（ほのぼの）、黒川氏（ゆうこうえん）、星氏（びりーぶ）、船木氏（ねこの手）、菊池（わたぼっち）、鹿嶋氏（カダル）】、岩本氏、高橋氏（ほくと）、菊池氏（竹生寮）、田原氏（いんくぽっと）、事務局（障がい福祉課2名）

・主な協議内容等

移動支援に関する研修会に参加

○H29.12.6(木) 運営会議 市役所1-B会議室 PM4:00~5:00

・出席者：斎藤委員（部会長）、成田委員、猪岡委員、事務局（障がい福祉課1名）

・主な協議内容等

- (1) 移動支援に関する研修会のアンケート集計結果について
- (2) 課題提言表の作成について
- (3) 事業所一覧の作成について

□H29.12.20(水) 第6回 部会 あきぎんスタジアム会議研修室 PM1:30~4:00

・出席者：斎藤委員（部会長）成田委員、猪岡委員、石井委員、菊地委員、宮田委員、畠山委員  
小田内委員、船起委員、設置運営要綱18条に基づく関係者【菅原氏（秋田ワークセンター）、黒川氏（ゆうこうえん）、原田氏（ニコニコ）、成田氏（広面ハウス）、伊藤氏（ねこの手）、菊池氏（わたぼっち）、鹿嶋氏（カダル）】、事務局（障がい福祉課1名）

・主な協議内容等

- (1) 移動支援に関する研修会アンケート集計結果について（報告）
- (2) 事業所一覧の作成について
- (3) 課題提言用の作成について～方向性の確認～
- (4) 事例検討（身体障がい事例）

○H30.1.10(水) 運営会議 市役所121会議室 PM4:00~5:00

・出席者：斎藤委員（部会長）、成田委員、猪岡委員、事務局（障がい福祉課1名）

・主な協議内容等

- (1) 課題提言表の作成について
- (2) 事業所一覧の作成について

□H30.1.17(水) 第7回 部会 あきぎんスタジアム会議研修室 PM1:30~4:00

・出席者：斎藤委員（部会長）、成田委員、猪岡委員、菊地委員、宮田委員、鈴木氏（片桐委員代理）、畠山委員、岩本委員、秋本委員、設置運営要綱18条に基づく関係者【黒川氏（ゆうこうえん）、原田氏（ニコニコ）、成田氏（広面ハウス）、伊藤氏（ねこの手）、菊池氏（わたぼっち）】、事務局（障がい福祉課1名）

・主な協議内容等

- (1) 課題提言表の作成について
- (2) 事業所一覧の作成について
- (3) 事例検討（児童事例）

○H30.2.9(水) 運営会議 市役所1-B会議室 PM4:00~5:00

・出席者：斎藤委員（部会長）、成田委員、猪岡委員、事務局（障がい福祉課1名）

・主な協議内容等

- (1) 課題提言表の作成について
- (2) 事業所一覧の作成について
- (3) 29年度相談支援部会総括について

□H30.2.21(水) 第8回 部会 あきぎんスタジアム会議研修室 PM1:30~4:00

・出席者：斎藤委員（部会長）、戸嶋委員、石井委員、菊地委員、宮田委員、片桐委員、畠山委員、船起委員、柴田委員、秋本委員、設置運営要綱18条に基づく関係者【菅原氏（秋田ワークセンター）、清水氏（ほのぼの）、黒川氏（ゆうこうえん）、原田氏（ニコニコ）】、事務局（障がい福祉課1名）

・主な協議内容等

- (1) 事業所一覧の作成について
- (2) 課題提言表の作成について
- (3) 29年度相談支援部会での協議を振り返って
- (4) 30年度の協議事項について

4 協議結果：協議の成果と今後の検討課題について

(1) 課題解決の検証および課題の再整理について

【旧課題提言分類表の活用による新たな「課題提言分類表」の作成】

① 協議の成果

新たな「課題提言表」を作成するにあたり、委員から旧課題提言表の評価が必要ではないかとの提案があったことから、旧課題提言表の項目の達成状況について協議を行ったのち、運営会議で協議し作成した新たな「課題提言シート」の作成に向けた整理表を用いて、委員および部会に参加していただいている関係者から課題を上げてもらうこととした。

委員等からは、合わせて59項目の提案があり、具体的な内容と課題解決に向けて考えられる方向性について、提案委員から説明をしてもらい、情報共有を図った。

併せて、これらの課題について、事務局(障がい福祉課)からも考えられる方向性(案)を示していただき、双方の案を照らし合わせながら、部会としての方向性を協議した。

② 今後の検討課題

今年度は、課題項目の半数程度しか協議ができなかったことから、平成30年度も引き続き協議を行い、部会としての方向性を見出していきたい。

併せて、課題については、就労部会や児童部会にも関わる事項も含まれることから、課題を検討しやすいように分類の再整理を行い、今後の協議につなげていきたい。

## (2) 社会資源の活用について

### 【移動支援関連事業所と相談支援事業所による情報共有に向けた研修会の実施】

#### ① 協議の成果

昨年度実施した移動支援サービス提供事業所を対象としたアンケートの回答において、要望が多かった勉強会（研修会）の開催について、移動支援サービス提供事業所の職員と相談支援専門員が一堂に会し、秋田市における移動支援に関する内容の確認や現状、課題を把握し、利用者や家族に対して、より良いサービスの提供に繋がるよう共通認識を図って行くことを目的とした「移動支援事業に関する研修会」を11月に開催した。

移動支援事業所11事業所から13名、相談支援事業所18事業所22名が参加し、①昨年度実施した移動支援事業・同行援護事業所を対象としたアンケート結果の報告、②移動支援事業についての行政説明、③移動支援事業所・相談支援事業所・行政の3者による情報交換、④事例検討として、移動支援を利用されている自閉症の方の事例を基に7グループに分かれて検討を行った。

研修会終了にあたっての参加者に対するアンケートでは、「参考となった」との感想が多く聞かれ、特に事例検討について、「少人数のグループで活発な意見交換、情報交換が出来た」、「他事業所の状況を伺えた」、「今後サービス等利用計画を作成していく上での参考となった」、「継続して研修会や事例検討会を開催して欲しい」などのご意見を頂き、研修会の開催目的である移動支援に関する現状把握と共通認識を深めることは達成できたもの。

#### ② 今後の検討課題

参加者に対するアンケートにおいて、継続開催の希望が多く、中には各障害福祉サービス事業所での管理者となる「サービス管理責任者」との研修についても要望があったことから、その開催に向け、事務局（障がい福祉課）と調整を図っていきたい。また、「個別の障がいへの対応方法について聞きたい」との意見もあったが、同一の障がいであっても、その対応方法は事案ごとに異なることから、担当する相談支援専門員が移動支援事業所と密に連携を図りながら、安心してサービス提供出来るように支援していきたい。

## (3) 基幹相談支援センター等の整備に向けた検討について

#### ① 協議の成果

昨年度の相談支援部会の協議総括として、秋田市版のセンターについて、以下のような姿が望ましいとして報告を行うとともに、市の主導によるプロジェクトチーム等の設置の検討についても提案させていただいたところであり、部会としては、市からの設置等にかかる事項について提案待ちの状況であったことから具体的な協議には至らなかった。

なお、平成28年度に部会総括として、とりまとめた事項は以下のとおり。

ア 設置場所は分かりやすく行きやすい場所であること。

(相談者および他の相談支援専門員ともに)

- イ 人員配置として、3障がい+病気について見識のある人材を確保すること（一人が全ての知識を有していなくとも、センター全体で補完できる人材が揃っていることが大切。ワンストップ機能を確保）
- ウ センター配属の相談支援専門員は、障がい福祉等サービス利用のための計画相談支援（いわゆるサービス等利用計画の作成）は行わないこと。
- エ 各相談支援事業所への後方支援機能を有していること。

② 今後の検討課題

市においては整備に向けて支障となっている事項等の洗い出し等をさらに進めるなど、設置に向けた検討を加速させていただき、部会としても引き続き協力していくこととしたい。

なお、平成29年度に市が策定した第5期秋田市障がい福祉計画においては、平成32年度を基幹相談支援センターの設置年度としている。

(4) 困難事例への対応および課題解決に向けた事例検討について

① 協議の成果

平成28年度に引き続き、部会の年間スケジュールに事例検討を組み入れ実施してきた。具体的には、原則毎月開催される部会において、後半の約1時間を事例検討の時間とし、事例を身体・知的・精神・児童の4分野に分け、併せて委員等を所属する事業所の特徴から、先の4分野（4グループ）に分類し、毎回1グループの中の1事業所から事例提供して頂き、参加者全員で検討を重ねてきた。今年度は、身体障がいと知的障がいの分野が各2事例、精神障がいと児童の分野が各1事例、合わせて6事例（各回1事例：計6回）について検討を行った。

各分野について検討を重ねてきたことで様々な事例に触れ、他者の意見に耳を傾けることが出来き、委員等でもある相談支援専門員のスキルアップにつながり、延いては、本市の相談支援体制の強化にもつながる良い機会となった。

② 今後の検討課題

各相談支援事業所において、多種多様なケースに対応しているが、相談支援専門員の配置が1名の事業所も多く、事業所内で相談・検証することも出来ずに悩んでいるとの声を聴くことがある。部会において、引き続き、事例検討を定期的に行うことで、提供された事例の背景と課題を明らかにし、支援経過を検証するとともに、グループでの協議を通して対応策を考えることで、様々な障がい種別に対しての相談支援専門員の対応スキルの向上等、「資質の向上」につなげて行きたい。

(5) 事業所一覧の作成

【障害福祉サービス等提供事業所にかかる事業内容等の詳細事項を記載した一覧表の作成】

① 協議の成果

障害福祉サービス等の利用者および関係者の利便性向上（利用事業所を選択するにあたっての参考とするなど）を図るため、平成26年度から就労部会および児童部会において、各部会に関連する障害福祉サービス等提供事業所の事業内容等の詳細事項を記載した一覧表（以下、「事業所一覧」という。）を作成し、気軽にいつでも携帯端末等で閲覧ができるように市障がい福祉課ホームページに掲載している。

そのため、利用者等の更なる利便性の向上につなげるため、未作成の障害福祉サービスの事業所一覧の作成については、本年度、3部会（相談支援部会、就労部会、児童部会）の共通課題として、分担して行うこととしていたものであり、本部会では居宅介護事業所の一覧の作成に向けた検討を行った。部会では、どのような情報を掲載することが良いかを参加者から提案して頂き、項目を整理して様式を作成した。

各事業所への照会については、現在、各事業所へ依頼中であるとのことから、集計が終了次第、市障がい福祉課ホームページに掲載してもらうこととしたもの。

## ② 今後の検討課題

作成した事業所一覧については、既に他部会が作成している一覧表と併せ、部会委員および関係機関と連携し、速やかな更新に努めるとともに、新規事業所の開設情報の情報収集にも努め、利用者および関係者の利便性向上につながるよう情報提供をしていきたい。

## (6) その他、部会で検討が必要と判断した事項

### ① 協議の成果

平成29年7月23日に発生した秋田市内の河川氾濫、土砂災害に伴い避難勧告が発令された地区にお住いの障がい児者の避難状況と住宅被害等について、障がい福祉課の担当者から被害状況等の報告の後、各委員および出席の関係者（いずれも相談支援専門員）から対応状況を報告して頂き、相談支援専門員と各関係機関と連携を図りながら避難等を行った対応について情報共有を行った。

### ② 今後の検討課題

障がい者総合支援協議会の部会委員間では、平成24年度以降、災害関連・対策情報について送受信を行うことができるよう携帯電話のメール機能の活用によるグループを構築し、事務局（障がい福祉課）からの自然災害にかかる警戒情報を受信するなどし、被害状況の把握等やその情報の共有に努めてきた。

しかし、この度の災害は、市役所の閉庁時に発生したこともあり、その機能を活用することが出来なかったことから、その運用について今一度見直すなどし、機能の十分な活用を図ることとしたい。

## 5 今後の部会での協議等について

(1) 課題解決の検証および課題の再整理について（継続）

【旧課題提言分類表の活用による新たな「課題提言分類表」の作成】

今年度に積み残した課題について、部会としての方向性を見出して新たな課題提言分類表を作成していきたい。なお、就労と児童に関する課題については、就労部会や児童部会からも協力を頂き、課題解決を図っていきたい。

(2) 行動特性のある方の支援について

昨年度の相談支援部会の協議総括として、行動特性のある方にかかる課題については、秋田市のみの問題に留まらず、県全体での議論（施設整備等）が必要であり、県内の方は県内で支援が受けられるよう、秋田市としても機会を通じて、県に要望を伝えていただくとともに、部会としても引き続き、様々な支援方法について、協議を行いたいとしていたところであり、併せて、市においては、既存の障がい福祉サービス事業所等での受入れや、行動援護事業所の開設勧奨、日中一時支援事業や移動支援事業の提供事業者の増加につながるような支援に見合った事業費単価設定、行動障害の加算創設等について、検討いただくよう部会として提言を行うとともに、昨年6月に開催された第1回の本協議会においても、現状の報告を行ったところである。

しかし、平成29年度にあっては、市および当部会においても、具体的な支援につながるような検討を行う機会が少なかった。

そのため、検討材料として、行動面での手厚い支援が必要とされる方へのニーズ調査を行うなどし、より具体的かつスピーディに検討を進めていきたい。

(3) 障害福祉サービス提供事業所のサービス管理責任者と相談支援専門員（部会委員等）による研修会の開催について

今年度実施した移動支援事業所の従事者と相談支援専門員（当部会委員等）による研修会において、参加された相談支援専門員から、障害福祉サービス事業所のサービス管理責任者との研修会の開催を望む声が多くあった。サービス管理責任者と相談支援専門員とは、サービス等利用計画を作成するにあたり、利用者支援において密接に連携を図っていく必要があることから、一堂に会して情報交換・情報共有、共通理解を図ることができる研修会の開催は有益となるものと考えられる。

そのため、利用者にとってより良い支援につながるような研修会の開催に向け協議を行うこととしたい。

なお、サービス管理責任者においては、専門分野が多岐にわたるため、どのような形の研修が好ましいかについては、事務局を含め検討していきたい。

(4) 困難事例に対する検討について（継続）

困難事例への対応を積み重ねて行くことで、地域における福祉サービスや社会資源の評価に繋がるとともに、今後の市の整備していくべきサービス等も見えてくると思われる。

そのため、引き続き、定期的な事例検討を行い、各相談支援事業所が抱えている

不明確な点等について情報共有を図り、協議を行い、障がい種別ごとの対応等について理解を深めるとともに課題解決への糸口を見出していくこととしたい。